



おなかの中で、ガスができるのはなぜ

おなかの中で、大腸菌がはたらくため

おなかの中の大腸には、たいてい、いつも150～200ミリリットル(コップ1ぱいくらい)の空気やガスがつまっていて、それらが**大腸**の中のものを、前に送るのを助けています。このガスは、**大腸**の中の**食べ物**のかすから出ています。

大腸の中には、**大腸菌**という**細菌**(目では見ることができない小さな生き物)がたくさんいて、**野菜**などをくさらせ、**細かく**して消化しやすくしていますが、そのとき**ガス**が出ます。その空気やガスのうち、85パーセントは腸で**吸収**され、残りが「おなら」になって出るので。しかし、「おなら」の大部分は、**飲みこんだ**空気なのです。

お風呂の中で「おなら」をすると、あわが出るのは

わたしたちは、**食べ物**を食べるとき、**空気**もいっしょに**飲みこんで**います。

「おなら」の大部分は、わたしたちが**飲みこんだ**空気、おならの**体積**の80パーセント以上が、**空気**だといわれています。そして、残りは、おなかの中の腸で**つくられた**ガスなのです。そのため、「おなら」をお風呂の中ですると、**空気**や**ガス**があわになって出るので。(監修・保志 宏)



「おなら」は、おなかの中の空気やガスが出たもの

